

(別添)

国産原材料サプライチェーン構築事業に関する事業評価シート

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	取組名	事業実施年度	成果目標の具体的な内容	成果目標関係						整備事業	事業評価の検証方法	費用対効果分析関係		事業計画の妥当性	適正な事業執行	地方農政局長等の意見			
						生産者～中間事業者			中間事業者～食品製造業者等					食品製造業者等～協議会外					計画値	結果	
						現状値 (20年)	目標値 (28年)	実績 (28年)	現状値 (20年)	目標値 (28年)	実績 (28年)			現状値 (20年)	目標値 (28年)						実績 (28年)
静岡県	牧之原市	牧之原ウーロン茶推進協議会	茶	21年度～23年度	国産原材料の供給力の向上 (協議会販売金額を10%以上増加させる)	100%	1921%	2052%	100%	2031%	2047%							改植したべにふうきの茶園は適正な管理を行い順調に生育した。また、積極的に商談・イベントへの参加の中で、国産原料のウーロン茶等の品質・味・香りについて評価が高く、商談数が増えてきた。その結果、目標を達成した。			
静岡県	静岡市	紅茶用茶葉協議会	茶	21年度～22年度	国産原材料の供給連鎖による付加価値の向上 (協議会販売金額を5%以上増加させる(協議会内の販売金額を3%以上増加させる))	—	100%	100%	100%	2863%	664%	100%	2407%	465%	該当なし	請求書、販売伝票	該当なし	該当なし	1 1	高品質の紅茶製造のため手作業工程の増加等から荒茶、製品とも価格が上昇し販売が増えないため、中間事業者段階、食品事業者段階のそれぞれで目標を達成できていない。なお、英国での世界的な品評会で4年連続受賞をするなど品質は評価されている。受賞を契機に英国の輸入業者から商談が来ており欧州への紅茶輸出のきっかけを掴んだ。また、生産茶園の増、OEMの商品の取引追加、販売先をスーパーや土産店から高級ホテルへ切り替え等目標達成に向けて取り組んでいることから、改善計画を作成し、目標年度を2年間延長して再度評価を行うこととする。	
静岡県	静岡市	薬科原材料茶供給利用協議会	茶	21年度～23年度	国産原材料の供給連鎖による付加価値の向上 (協議会販売金額を5%以上増加させる)	100%	190%	180%	100%	166%	165%	100%	166%	151%	該当なし	入荷データ、出荷データ	該当なし	該当なし	1 2	近年の茶価の低迷等の影響を受け、生産者段階、中間事業者段階、食品事業者段階のそれぞれで目標を達成できていない。なお、今後は農地再生事業により規模拡大、認定農業者へ農地集積を進めるとともに作業の効率化を目指す。また、平成26年度に導入したCTC機械、碾茶施設の活用により、供給拡大を図っていることから、改善計画を作成し、目標年度を2年間延長して再度評価を行うこととする。	

- (注) 1 成果目標関係について、補足資料(別添2)を添付すること。  
 2 整備事業については、実施した場合に整備内容を記載すること。  
 3 費用対効果分析は、事業採択時と同様の方法で実施すること。  
 4 地方農政局長等が災害により事業計画で定めた方法では評価が困難と判断した場合は、その旨を地方農政局等の意見の欄に記述すること。  
 併せて、代替案で事業評価した場合は、一段下の欄に事業評価の検証方法及び評価結果を記入すること  
 5 中間的な評価の場合には目標値の欄に(中)の記述とともに中間評価の目標値を記載すること。  
 6 事業計画の妥当性の欄には、計画が妥当な場合には1を、計画が不適切な場合には0を記入すること。  
 7 適切な事業執行の欄には、事業が適切に執行された場合には1、適正に実施され、更に競争入札を実施した場合には2を、それ以外の場合には0を記入すること。